

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月4日

上場会社名 株式会社アイメタルテクノロジー  
 コード番号 5605 URL <http://www.imetal.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 宏昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門統括 (氏名) 松平 孝弘  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東

TEL 029-831-1791

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	15,744		747		625		250	
20年3月期第1四半期	12,617	5.1	333	48.1	277	51.3	87	62.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	5.59	
20年3月期第1四半期	1.95	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
21年3月期第1四半期	49,253		22,351		45.4	498.40
20年3月期	46,777		22,232		47.5	495.76

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 22,351百万円 20年3月期 22,232百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				5.00	5.00
21年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	32,000		1,300		1,050		450		
通期	65,400	17.2	2,850	3.2	2,500	3.4	1,150	14.3	25.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 社(社名) ) 除外 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 無  
 (注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 45,000,000株 20年3月期 45,000,000株  
 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 154,436株 20年3月期 153,642株  
 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 44,845,841株 20年3月期第1四半期 44,848,737株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の我が国経済は、米国経済の減速、原油・素材価格の高騰につづき一般生活必需品の相次ぐ値上げにより個人消費の伸びは鈍化し、先行きは不透明な状況となりました。

このような経済情勢の下、当社グループの主な得意先であるトラック業界は、ディーゼル車の新長期排ガス規制の代替需要も一段落し、国内向け販売は減少傾向となったものの、海外向けはロシア、湾岸地域及び南米を中心に好調を維持し、また、建設業界につきましても、中国、資源国向けが堅調に推移しております。

この結果、当第1四半期の連結売上高は157億44百万円（前年同四半期126億17百万円の24.8%増）、連結経常利益は原材料の高騰がありましたが、販売ボリュームの増加、減価償却費の減少および顧客への販売価格見直しなどにより6億25百万円（前年同四半期2億77百万円の125.3%増）となりました。

これにたな卸資産評価損など86百万円を特別損失に計上し、税金費用を控除した結果、連結四半期純利益は2億50百万円（前年同四半期87百万円の186.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(a) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22億33百万円増加し、170億46百万円となりました。これは主として、現金及び預金が8億18百万円、受取手形及び売掛金が10億26百万円それぞれ増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億42百万円増加し、322億7百万円となりました。これは主として、有形固定資産が3億円、投資その他の資産が99百万円それぞれ増加し、無形固定資産がのれんの償却によって1億57百万円減少したためであります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて24億76百万円増加し、492億53百万円となりました。

(b) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15億27百万円減少し、169億18百万円となりました。これは主として、短期借入金長期借入金へ借換えたことなどにより35億88百万円減少し、支払手形及び買掛金が12億24百万円、その他に含まれている設備関係支払手形及び設備関係未払金が4億13百万円、未払費用が4億80百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて38億85百万円増加し、99億84百万円となりました。これは主として、長期借入金短期借入金よりの借換えなどによって39億22百万円増加したことによります。

(c) 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億18百万円増加し、223億51百万円となりました。主な要因は為替換算調整勘定の増加額61百万円、その他に含まれている有価証券評価差額金の増加額30百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は現時点では、概ね当初見込みどおり推移しており、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に関しましては、平成20年5月15日の決算発表時点と変更はありません。

なお、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実施棚卸を省略し、前連結会計年度末の実施棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想を利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(1)「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(2)「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げ方法）に変更しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,605,514	1,786,991
受取手形及び売掛金	9,805,552	8,779,343
製品	1,414,745	1,482,852
原材料	641,881	612,919
仕掛品	544,190	428,118
貯蔵品	477,254	471,672
その他	1,557,071	1,250,409
流動資産合計	17,046,208	14,812,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,221,150	11,378,963
機械装置及び運搬具	8,510,631	8,493,258
土地	6,726,256	6,726,256
その他	2,174,413	1,733,113
有形固定資産合計	28,632,452	28,331,592
無形固定資産		
のれん	1,729,694	1,886,939
その他	38,223	38,286
無形固定資産合計	1,767,918	1,925,226
投資その他の資産	1,807,195	1,708,098
固定資産合計	32,207,565	31,964,917
資産合計	49,253,774	46,777,224
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,993,461	8,768,538
短期借入金	1,808,560	5,396,680
未払法人税等	310,546	430,184
その他	4,805,908	3,850,229
流動負債合計	16,918,476	18,445,631
固定負債		
長期借入金	7,072,440	3,149,840
退職給付引当金	725,263	768,845
その他	2,186,585	2,179,992
固定負債合計	9,984,288	6,098,678
負債合計	26,902,765	24,544,309

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,000	1,480,000
資本剰余金	9,510,553	9,510,553
利益剰余金	9,328,089	9,302,271
自己株式	△17,747	△17,557
株主資本合計	20,300,895	20,275,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	172,894	141,907
土地再評価差額金	1,920,161	1,920,161
為替換算調整勘定	△42,942	△104,420
評価・換算差額等合計	2,050,113	1,957,647
純資産合計	22,351,009	22,232,914
負債純資産合計	49,253,774	46,777,224

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

売上高	15,744,116
売上原価	13,985,392
売上総利益	1,758,723
販売費及び一般管理費	1,011,328
営業利益	747,395
営業外収益	
受取配当金	8,538
固定資産賃貸料	13,534
持分法による投資利益	1,800
その他	6,846
営業外収益合計	30,721
営業外費用	
支払利息	46,144
シンジケートローン手数料	71,281
その他	34,809
営業外費用合計	152,234
経常利益	625,881
特別利益	
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	7,511
たな卸資産評価損	79,134
特別損失合計	86,646
税金等調整前四半期純利益	539,235
法人税等	288,538
四半期純利益	250,696

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

単位：千円(千円未満切捨て)

科 目	前第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	
	金 額	構成率
売 上 高	12,617,676	100.0%
売 上 原 価	11,367,391	90.1%
売 上 総 利 益	1,250,284	9.9%
販売費及び一般管理費	916,287	7.3%
営 業 利 益	333,996	2.6%
営 業 外 収 益	31,760	0.3%
営 業 外 費 用	87,929	0.7%
経 常 利 益	277,826	2.2%
特 別 利 益	-	
特 別 損 失	9,099	0.1%
税金等調整前四半期純利益	268,727	2.1%
税 金 費 用	181,193	1.4%
四 半 期 純 利 益	87,534	0.7%

6. 【生産、受注および販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高 (千円)
自動車用等関連部品製造事業	15,810,227
計	15,810,227

(注) 金額は販売価格に換算しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結会計期間の受注実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
自動車用等関連部品製造事業	16,313,933	8,518,638
計	16,313,933	8,518,638

(注) 金額は消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高 (千円)
自動車用等関連部品製造事業	15,744,116
計	15,744,116

(注) 1 主な相手先の販売実績および総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期連結会計期間	
	金額 (千円)	割合 (%)
いすゞ自動車株式会社	11,819,312	75.1

2 金額に消費税等は含まれておりません。